



明治に活躍した館山ゆかりの人びと②

公益を追求した企業人・渋沢栄一と福原有信をめぐって

2014
12/7
(日)

- ① **見学会** 10:30~11:00 船形学園 正門集合 (崖観音大福寺隣)
渋沢栄一の書による磨崖碑
- ② **講演会** 13:30~15:30 館山商工会館ホール
講師：井上 潤 (渋沢史料館館長)
愛沢 伸雄 (NPO 法人安房文化遺産フォーラム代表)

「実業による私利は公益に資するべき」

これは、近代経済界の発展に貢献した**渋沢栄一**の言葉です。明治から大正にかけて 500 近い銀行や企業の設立に関わりました。1888(明治 21)年には、**豊津村(館山市)**に**日本水産会社**を**大倉喜八郎**とともに設立しています。

また、「**道徳経済合一説**」という理念に基づき、教育や慈善事業にも尽くしました。なかでも、身寄りのない子どもや老人、障害者などを救済する目的で、日本で最初の公立救貧施設として**東京養育院**を設立しています。1909(明治 42)年には身体虚弱児の転地療養施設として、**船形町(館山市)**に**東京養育院安房分院**を開設し、自ら初代院長として生涯のライフワークとしました。最晩年には、「**天恵豊かな船形で、地元有志の熱心な援助により、児童が健やかに生育しつつある状態を見ることは真に喜びとするところ**」と述べています。東京養育院は1999(平成 11)年に廃止されましたが、分院は**東京都船形学園**として継続運営されています。



学園の敷地内には、1917(大正 6)年、**船形町長の正木清一郎**をはじめとする船形町有志によって崖に彫られた記念碑があります。高さ約 10m 幅 6m の巨大な磨崖碑で、渋沢の書による碑文は一文字 30cm 角の大きさです。長い時を経た著しい風化は近年修復され、今回は特別に見学の許可をいただきました。見学希望者は時間厳守でお集まり下さい。

一方、**松岡村(館山市)**出身の**福原有信**もまた、人びとの健康と幸福を願い、日本で最初の西洋調剤薬局・**銀座資生堂**や**帝国生命(現朝日生命)**、**安房銀行(現千葉銀行)**を創業しています。

福原の長女とりは、**館山病院**の初代院長**川名博夫**に嫁ぎ、その妹**美枝**は渋沢家の次男**武之助**に嫁いでいます。この姻戚関係により、1921(大正 10)年に渋沢が日米関係委員会に出席する際の侍医として、館山病院二代目院長の**穂坂与明**が随行しています。

偉大な先人の生き方に学び、現代社会に活かせるまちづくりのヒントを考えましょう。

主催：NPO 法人安房文化遺産フォーラム
問合せ：awabunka@awa.or.jp 090-6479-3498